



めろん組だより

臼井幼稚園

令和7年2月25日発行

この冬はしっかりと寒く、子ども達の冷たい手に触ると静電気がびりびり！どんなに寒くても、外で遊びたい子ども達が愛おしいです。そしてここまでインフルエンザはほとんど皆無、風邪でお休みもとても少なかったので、嬉しい限りです。

発表会が無事終わり、今年も本当に素敵な作品ができました。予期せぬ事態も発表会の最中に起こっても、子ども達が自分の頭で考えて問題解決したり、友達をさりげなくフォローしたりすることを目にしました。そんな時に、幼稚園生活の経験で培われた子ども達の力を感じるのです。困っている友達は自然に助けられる、素敵なシーンを何度も見せてもらいました。

ひとつの劇を作り上げる、という共通のイメージと音楽で、どんな子も自分の思う通りに表現できるこの作品づくりはまさに世界にひとつだけのものです。

支援の必要なお子さんも一緒に、行ないました。発表会には出ない、とお決めになった保護者の方もいらっしゃると思います。それもひとつの表現として受け止めています。色んな表現方法を、認めていける世の中であって欲しいです。臼井幼稚園は、色んな子どもがいて、みんな違ってみんないい。かっこいい理念とか、「こういう子を育てます」とか、机上の理想は不要だと思っています。子ども達はみんな生きていて、煌々しい。粹にはめられないからこそ美しいのです。

アクティブラーニングと文科省が推進している小学校教育は英会話もタブレットも取り入れてはいますが、本当に一人ひとりが得意なことを好きなように伸ばせる環境にあるのか？疑問を覚えずにはいられません。

幼稚園では年長の3学期頃に、個性がぐっと出てきます。私の感覚ですが、際立ってくるのが3学期、もっと早い子どももちろんいます。そうすると、もう卒園を迎えます。寂しくて晴れやかな旅立ちの日。この個性をどんどん伸ばして行って欲しいです。そのためには、親御さんのお子さんへの向き合い方が大変大切です。全面的に自分を受けて入れてくれる親御さんがいるからこそ、子どもは社会でもやっていけるのです。親御さんに信頼され、愛されているからこそ、先生を信頼できる子どもに育ちます。絶対的に受容されている子どもは自己肯定感があり、生きていく力が自然に身につきます。

世の中が、お母さま方も働くことを求め、そうしなければ生活するのが難しいように政治が仕向けています。だから保育園を乱立しているのです。そこで抗うにはあまりに無力で、ただただ経済的につらくなるだ

け。。怒りでいっぱいですが、仕方ない。

それでもいい教育を、と臼井幼稚園を選んでくださった皆さまに、いつも感謝しています。これからも努力して参ります。

園長 志田裕美子

<担任から今月のメッセージ>

発表会にお越しくださり、ありがとうございました。

2月に入ってから発表会までカウントダウンをし、「今日ママたち来る？」「あと何回寝たら発表会？」と何度も確認する程、おうちの方にピーターパンを見せることを楽しみにしていました。

発表会当日、子どもたちはいつも通りニコニコと登園し、「おもちゃで遊んでいい??」と友だちが揃うまでいつも通りに過ごしていました。

そんなみんなを見ていると私も緊張がほぐれて、自然と笑顔になれました。本番の時間が迫ってきたので、「ピーターパン頑張るぞ」

「おー!!!」

「ユーキャン」

「フライー！」

と気合いを入れていると、誰かが「ぼくぼくちーん！」とじ組さんの劇（一休さん）のセリフを言い始め、みんなでぼくぼくちーん！と大合唱。この自由すぎるところがめろん組らしくギリギリまで笑ってしまいました。

気を取り直し、気合いをいれていざ出陣。

たくさんのお客さんにちょっぴり緊張していましたが、一生懸命に演じる子どもたちを見て胸が熱くなりました。セリフはいつもより大きな声が出ており、子どもたちの気持ちが伝わってきました。

いつもはないようなハプニングもありましたが、1人ひとりが最後までやりきる姿を見て、心もお兄さんお姉さんになったんだなと頼もしく、誇らしく思いました。

<2 ページへ続きます>

かっこいいピーターパンを見せてくれて、本当にありがとう！という気持ちでいっぱいです。

この手紙が出る頃にはミニミニ発表会も終わっているでしょうか？

発表会に惜しくも欠席していた友だちもいたので、ミニミニ発表会では全員で、さらにパワーアップしたピーターパンを見せたいです。役替えもしているので、乞うご期待！！という気持ちで臨みました。ミニミニ発表会もみんなが笑顔でできますように。

年長さんや年中さんが縄跳びをしている姿をみて、自然と自由遊びの時間に縄跳びをする子が増えてきました。

ゆっくり回して縄をジャンプした回数、地面に縄を置いた状態で、縄を踏まないようにジャンプした回数など、自分のできるやり方で縄跳びをしています。跳べた回数を手の甲に書くと、また嬉しそうに跳んでいます。

教員が数えた回数の時もあれば、子どもたちが自分で数えた回数の時もあります。

どうぞ、手の甲に数字が書いてあったら、お子さんに縄跳びをチャレンジできたことを褒めて頂けると幸いです。よろしくお願いいたします。

2月17日からめろん組に新しいお友だちが加わりました。とても可愛い双子ちゃんです。友だちが増えると嬉しいですね。

めろん組として過ごせるのも数えるほどになり寂しいですが、日々を大切に、笑顔で過ごせるようにしていきたいです。

安西 美怜

